

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	新見警察署		所在地	新見市新見389－1	
敷地面積	4, 488. 67 ㎡		棟数	4 棟（計画記載対象 1 棟）	
延床面積	2, 465. 20 ㎡			※対象は200㎡以上の建物（車庫、倉庫等は500㎡以上） ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	新見市を管轄区域とする警察署				
【想定される自然災害】					
予想震度 5弱		津波 ー		浸水 1.0m以上2.0m未満	
建築規制	非線引き都市計画区域、準工業地域 建ぺい率60％ 容積率200％				
エネルギー使用量 （ 2017 年度 ）	電気 189,901 kwh	ガス 154 ㎡	水道 870 ㎡	燃料（ 灯油 ） 1,745 0	
管理上の 特記事項	敷地内未利用地なし、敷地内貸付地なし				

1 施設内建物の概況

名 称	本館棟		
築年(西暦)	2003 年		
構 造	鉄筋コンクリート 造 4 階		
建築面積	577.57 m ²		
延床面積	2,097.16 m ²		
主要な用途 (室名等)	執務室 7室 275.01m ² 会議室 4室 193.48m ² 道場 1室 164.66m ²		
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 昇降機		
利用状況	高		
耐震性 ※1	有		
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—	
	中性化 ※3	—	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	
	地盤沈下 ※5	適	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし		

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適

※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適

※4 傾斜が有る場合は不適

※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物は、修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館棟	設備等の定期更新を行う。

3. 施設全体のスケジュール
(概 要)

劣化の進んだ設備等について、順次更新を行う。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
本館棟	設備等の 定期更新 (修繕・改修を含む)										
								照明LED化			

4. 概算費用

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R6.3	本館棟の照明LED化を追加
R8.3	本館棟の外壁改修のスケジュール変更